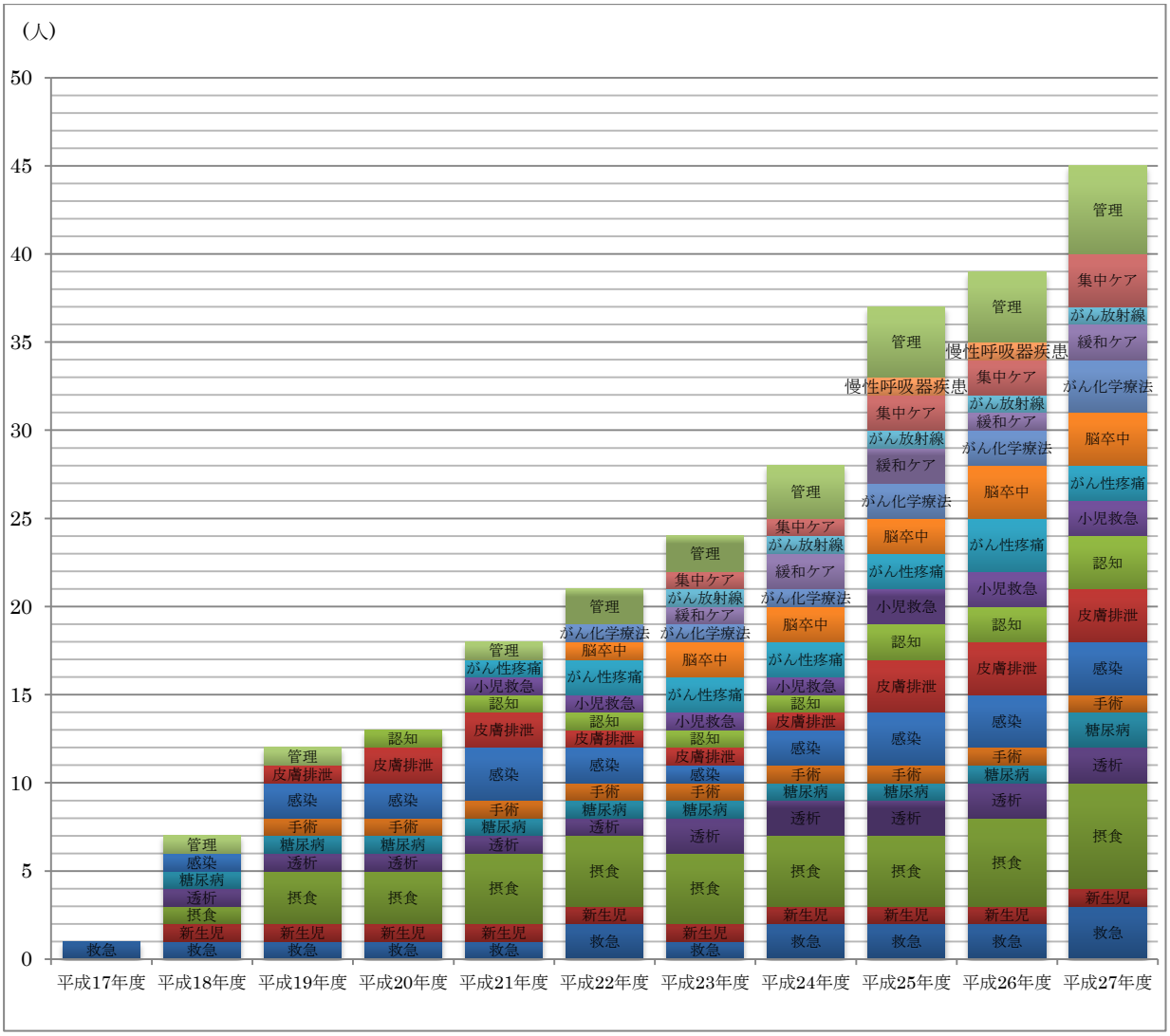
## ６８．分野別認定看護師数の推移




認定看護師は高度化・専門分化が進む医療現場における看護ケアの広がりと看護の質向上を目的に発足した制度であり、21 分野が日本看護協会で認定されている。その役割は特定の看護分野において実践（個人・家族及び集団に対し、熟練した看護技術を用いた水準の高い看護の実践）、指導（看護実践を通した看護職に対する指導）、相談（看護職へのコンサルテーション）の３本柱をその役割としている。

当院では平成 10 年に最初の認定看護師が誕生して以来、この数年で分野・人数とも増加しており、看護の質の向上につながっていると考える。

このグラフでは認定看護管理者も同時にあらわしているが、認定看護師と認定看護管理者は異なる分野である。また、ここにはあらわされていないが、専門看護師が分野として存在する。当院では急性・重症患者看護分野及び慢性疾患看護分野の 2 名の専門看護師が活躍している。

データ提供　看護部